

林野庁 四国森林管理局

徳島森林管理署 とくしま通信

森林作業道再利用現地検討会を開催しました

11月19日(金)、徳島県三好市東祖谷落合 深淵山国有林 80林班において、「令和3年度 森林作業道再利用現地検討会」を、徳島県、三好市、三好地区の林業事業体、四国森林管理局・徳島署から26名の参加により開催しました。

まず、署長の開会挨拶に続き、総括森林整備官より今回の検討会の開催趣旨及び現地の概況説明を行った後、既設の路網を移動しながら、各ポイントで現在の状況を参加者に確認してもらい、評価すべき点や問題点、作設状況の説明などを行いました。

その後、意見交換会において参加者からは、「路網はフラットの方が作業効率は良い」「林業機械が大型化しているので幅員は3mが望ましい」また、「路網は水切りが大変重要である」などの意見が出され有意義な検討会となりました。

徳島署では、林業の成長産業化に向けて、技術の向上・普及に努めてまいります。



現地説明・確認1



現地説明・確認2



現地説明・確認3



意見交換会

完工記念植樹祭を開催しました

12月16日(木)、徳島県那賀郡那賀町阿津江にて、阿津江地区直轄地すべり防止事業完工に伴う記念植樹祭を開催しました。

H16年に台風10号により大規模な崩壊が発生し、多大な被害を与え、H17年より徳島県が復旧工事を開始、その後、崩壊地上部に大規模な地すべり箇所が判明し、徳島県と那賀町より要請を受け、H20年度より徳島署が事業に着手しました。

この事業も今年度で完工となる事からこれを記念し、地元の方や地権者の皆さん、相生小学校、那賀高等学校の生徒の皆さん、徳島県及び那賀町関係者の方を招待し、74名の参加をいただき記念植樹祭を開催することができました。

開催にあたって、那賀町長よりご挨拶をいただいた後、続いて森林環境教育の一環として、生徒を対象に「くずれた森を治す治山事業」と題して、森林の役割や、災害当時の状況と復旧経過などの説明を行い、参加者全員でカエデやヤマザクラなどの苗木を植えました。

最後に地権者や地元住民の皆さんに事業の効果判定の結果等により事業の完了を報告し、無事終了しました。

今後も徳島署では、治山工事等を通して地域の安全・安心に努めてまいります。



坂口那賀町長の挨拶



阿津江地区の事業説明



植樹の様子(ドローン撮影)



記念撮影

子供たちへの森林環境教育を実施しました

12月24日(金)に、徳島県小松島市立目佐児童館において、子供たちを対象とした「森林環境教育」を行いました。

今年度も当初、新型コロナウイルスの影響により開催が危ぶまれていましたが、コロナの状況が落ち着いた期間に開催することができ、今年度5回目を開催することができました。

はじめに、自然を大切にしたい気持ちを持ってもらう事を目的として、草木の冬芽が春にむけて準備をしている様子の絵本「ふゆめがっしょうだん」のお話を聞いてもらいました。

その後、子供たちが楽しみにしていた「木工制作(クリスマスツリー)」では、それぞれに木の枝や木の実、端材を上手に組み合わせながら、思い思いのクリスマスツリーを作っていました。

徳島署では、今後もこのような森林環境教育を通じ、森林環境への理解を深めるきっかけとなる取組を行ってまいります。



「ふゆめがっしょうだん」の話聞く子供たち



クリスマスツリーの材料を選ぶ子供たち



クリスマスツリー制作中の子供たち



完成したクリスマスツリー



徳島県庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
 TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
 〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1



国民の森林・国有林